

# PREMERA AE T7

1液性超速乾プライマー

プリメラ AE T7は、管理制御されたナノテクノロジーを用いた低速乾燥で非常に薄い付着促進剤です。  
本製品使用により、今まで接着しなかった下地にも接着が可能になりました。接着対象に関しては、必ずお問合せ下さい。



設計使用量

22-37m<sup>2</sup>/Liter

@10-23microns  
(エアレス使用時)

色調：透明色

荷姿：3.8 L ガロン缶

※ 施工方法、塗布対象、施工仕様等については必ずお問合せ下さい。

## 特徴

- ・ 蒸発速度が低速の付着促進剤
- ・ 分子単位での共有結合をもたらし、施工された表面と一体化されます
- ・ ほとんどどのような下地面にも使用できます
  - － コンクリート、鋼鉄、表面仕上げ木材、及びタイル面等
- ・ 下地面の表面に浸透します。
- ・ ほとんど目につきません
- ・ 下地からの湿気、汚れ、及びカビを寄せ付けません
- ・ メンテナンスコストを低減させます
- ・ 低い可燃性

## 用途

- ・ 下地と塗装面間、又は複数の塗装免間の付着材として機能
  - ・ 塗装済み、または未塗装を問わず鋼鉄面への施工が可能  
仕上げ木材、ゴム面、及びガラス面にも施工が可能
- ※塗布下地との相性に関しては必ずお問い合わせください。

●施工条件について  
指触乾燥、塗布間隔は施工環境の温度により前後いたします。

●製品の保管について  
使用期限は工場出荷後未開封にて18ヶ月になります。保管の際は高温・高湿度、低温で凍結の恐れのある場所などでは保管しないで下さい。開封後は出来るだけ早く使い切るようにして下さい。

●安全上の注意  
材料の保管、運搬、使用に際しましては、それぞれの製品安全データシート（SDS）を熟読頂き、注意事項をご理解頂きました上での取り扱いをお願い致します。

## 技術データ（すべての試験値は77°F(25°C)でのデータ

規格	Metric
(ASTM D2369) 揮発成分 Volatile organic compounds	32 g/L 以下
理論施工面積 Consumption for 2.5 pound(40kg)density Foam	22-37 m <sup>2</sup> /L @10-23microns
(ASTM D792) 比重 Specific Gravity of materials	0.91 kg/L
(ASTM D2697) 使用期限 (25°C) Shelf life@77°F/25°C	12 ~ 24 か月
引火点 Pensky Martin法 Flash point Pensky Martin	<25°C
施工可能温度 application temperature	7°C ~ 40°C
<b>施工条件 (標準試験室状態) PROCESSING PROPERTIES(Under standard lab conditions)</b>	
指触乾燥 Touch Dry	1分
硬化乾燥 Dry Through	10~15分
塗布間隔 Recoat interval	10~15分

## ●下地処理について

コンクリート施工面は乾燥しており、平滑、構造的に堅固で、へこみ、剥離、またはグリース、ほこり、及びシリコンシーラントなどのような異物も付着していないこと。T7は7-40°C、湿度90%以下、屋外施行の場合は塗布施行完了後5時間以上は降雨や霜が降りないことを確認してください。

風は仕上げ面の性状に影響することがあるので風よけを設けることが必要になることがあります。T7の施工には吹付、ローラー、ブラシがけでも可能です。吹付施行により最良で、最大の成果を出すことができます。

## ●塗装作業

グレー又は赤の筒先があるアルコール及びアセトン耐性の携帯型吹付機、又はサイズ1.0の筒先があるHVLP吹付機を用意し、約25psiの圧力に設定すること。量的に吹き付けるのに十分だが、溜りができない程度の量でパターンが長さ20-25cm、間に幅5cmの長方形の形ができるよう試験吹きを行うこと。施工直後の表面をすずくで汚さないよう空バケツを用意し、吹付けをバケツから始めバケツで終了するよう作業すること。試験吹きパターンが満足いくようなら一層目を網目模様に吹き均一な塗布面にする。

## ー ブラシ施行

良質で、サイズは施工面が丁度カバーできるサイズのものを使用すること。

T7は網目模様に塗布すること。過剰な塗布作業にならないようにすること。蒸発を防ぐため、容器のふたは閉めておくこと。

## ー ローラー施工

極細高密度の泡ローラーにてT7を網目模様でできるだけすばやく塗り付けること。ローラーを押さえつけないようにすること。

## ー 施行限度

施工面と未施工面は同じように見えるため、施工作業はかど又はマークしたところなど前の施工が終わったところがはっきり分かるところから始めること。これにより、再度施工を始めるとき乾いているところのヤスリがけをしないで始めることができます。

日本総代理店  
金森藤平商事株式会社  
新規事業推進チーム  
〒104-0028  
東京都中央区八重洲  
2-11-4  
TEL 03-3275-1181  
FAX 03-3274-5818  
URL <http://polyurea.jp/>

製造元  
Nukote Coating Systems International  
2100 Reliance Parkway  
Suite 2100, Bedford Texas  
USA 76021  
Tel: +1-682-503-6799  
Fax: +1-682-503-6512

本製品に関するお問い合わせ、ご用命は